

市町名 沼津市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



子どもとボランティアとの交流

実施開始年度 平成 22 年度

| | | | | |
|-----------------|--|------------|---------|-----------|
| 活動名 | 大岡南小放課後子ども教室 | | | |
| 実施箇所名 | 沼津市立大岡南小学校 | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 子どもの居場所づくり | | |
| | 開催日数等 | 第1・2・3金曜日 | 実施場所 | 体育館・グラウンド |
| | 参加児童・生徒数 (のべ数) | 162 人 | ボランティア数 | 9 人 |
| | <概要・特徴> 毎月第1・2・3金曜日の放課後に、1時間程度の自由遊びや企画行事を行っている。 体育館ではボール遊びの他、ボードゲームやカルタ、けん玉、コマ回し、自由学習などを行い、校庭ではサッカーや一輪車、鬼ごっこなどを行っている。 | | | |
| | <活動上の工夫> ・年に数回、クリスマス会や節分に合わせてお楽しみ会を企画している。 ・夏休み中には、特別企画として社会科見学やボルダリングなどを実施している。 | | | |
| | 連 携 先 | 沼津市立大岡南小学校 | | |
| 活動の成果 | ・異学年の子ども同士で交流が生まれ、クラス以外の友達ができている。 ・集団遊びの中でルールを守ること、他者と関わり方を学ぶ事ができた。 ・地域の大人と接することで、昔遊びを教わる事ができた。 | | | |
| 課題等 | ・ボランティアスタッフが固定されてしまい、人数が年々減少しつつある。 ・子ども同士のケンカの仲裁、ケガをしたときの対応、物を紛失した時の対応など、判断が難しい時がある。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 伊東市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



囲碁の楽しさを知る ～大会出場も目指して～

実施開始年度 令和 元 年度

| | | | | |
|-----------------|--|---------------------------------|---------|---------|
| 活動名 | 囲碁教室 | | | |
| 実施箇所名 | 伊東市立宇佐美小学校・東小学校・大池小学校 | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 囲碁の普及・子どもの居場所づくり | | |
| | 開催日数等 | 毎週水曜日 | 実施場所 | 学校音楽室ほか |
| | 参加児童・生徒数 | 30人 | ボランティア数 | 10人 |
| | <概要・特徴> 毎週水曜日に3校に分かれ囲碁教室を実施。 | | | |
| | <活動上の工夫> 通常1～2時間程度の実施ではあるが、6年生のみ、要望があった場合時間の延長をしている。 子どもたちが飽きないように、対戦する以外にも大判を使用したゲーム形式の囲碁なども取り入れている。 継続してこれるよう、出席シールなども作成している。 | | | |
| | 連 携 先 | 各学校学童（わんぱくクラブ・東っ子学童クラブ・ひまわりクラブ） | | |
| 活動の成果 | <ul style="list-style-type: none">・熱心に参加する子どもは、囲碁の大会にも出場するまでになっている。・学校としっかり調整することにより、学期始めには、放送をしていたいたり、参加しやすい環境を整えることができた。 | | | |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none">・1～2年生が多いため、子どものしかり方に苦慮している。・学校を通じて参加児童・生徒を募集しているが、参加児童・生徒の把握や名簿の作成に時間を要するため、事務作業についても支援が必要である。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 富士市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



囲碁にふれる、異学年との交流

実施開始年度 平成 29 年度

| | | | | | |
|-----------------|--|----------------------------|-----|---------|-----------|
| 活動名 | 放課後囲碁隊 | | | | |
| 実施箇所名 | 原田まちづくりセンター | | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 伝統的なゲームにふれる、異学年との交流、居場所づくり | | | |
| | 開催日数等 | 月1回 | 全9回 | 実施場所 | 大会議室、中会議室 |
| | 参加児童・生徒数 | 19 | 人 | ボランティア数 | 2人 |
| | <概要・特徴> 伝統的なゲームである囲碁に気軽に触れる機会を提供する。また囲碁を通じて考える楽しさや、対戦相手へのマナーを身に着ける。 | | | | |
| | <活動上の工夫> ・難しいと敬遠してほしくないで、クイズ形式やチーム戦など明るい雰囲気で行っている。 ・過年度参加者と新規の子は定着度に差があるので、対局中心クラスとルールの学習クラスに分けている。 | | | | |
| | 連携先 | | | | |
| 活動の成果 | ・ 囲碁の認知が原田小の子供たちに徐々にだが浸透しており、前年度から継続して参加してくれる子も増えている。 ・ 1年間参加してもらえると、一通り9路盤(一番小さい盤)で打てるようになっている。 | | | | |
| 課題等 | ・ 月に1回のため、難しいルール(石の生き死になど)や用語などがなかなか定着しない。前回の復習に充てる時間が多くなってしまう。 ・ 子供達にはあまり囲碁はなじみがないので、募集の定員(20名)に満たない。年によっては募集に苦労することもある。 | | | | |
| 備考 | | | | | |
| 参考URL | | | | | |

市町名 富士市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 25 年度

卓球を通じて体を動かす、異学年との交流

| | | | | |
|-----------------|--|--------------------------|---------|------|
| 活動名 | 放課後ピンポン隊 | | | |
| 実施箇所名 | 原田まちづくりセンター | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 運動習慣づくり、異学年とのふれあい、居場所づくり | | |
| | 開催日数等 | 月1回 全9回 | 実施場所 | 多目的室 |
| | 参加児童・生徒数 | 37 人 | ボランティア数 | 2 人 |
| | <概要・特徴> まちづくりセンターの卓球台を使用して、気軽にできて子供たちに人気のある卓球を行っている。長く継続している事業なので、子供たちには「ピンポン」と親しまれており、毎年募集人数を大幅に超えた応募がある。 | | | |
| | <活動上の工夫> ・4台あるうちの2台を先生の指導用、残り2台をある程度打てる子の試合用にしている。 ・試合はこちらでルールを指定することなく、審判や何点マッチ、勝ち抜け方式にするなどは子供に任せている。上級生が中心になり、誰かが台を独占することなくうまくローテーションして行っている。 | | | |
| | 連 携 先 | | | |
| 活動の成果 | ・この事業を通じてセンターで行うほかの少年教育事業への参加につながるなど、センターを身近な存在としての親しんでもらえている。 ・体を動かすのはもちろんだが、上級生を中心に自分たちでルールを決めたり、下級生の面倒を見たりなど、子供たちの自主性も見られる。 | | | |
| 課題等 | ・40人近い人数を、講師2人と職員1人で見るので、全員のケアが難しい。途中で飽きてふざけてしまう子や、勝負事なので怒ってしまう子もいる。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 御殿場市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 23 年度

風船バレーを楽しむ児童

| | | | | |
|-------|--|-----------------|---------|-----|
| 活動名 | あさひの花さく放課後子ども教室 | | | |
| 実施箇所名 | 御殿場市立朝日小学校体育館 | | | |
| | 目的 | 放課後の子ども達の居場所づくり | | |
| | 開催日数等 | 年26回程度 | 実施場所 | 体育館 |
| | 参加児童・生徒数 | 35人 | ボランティア数 | 4人 |
| | <p><概要・特徴></p> <ul style="list-style-type: none">・平日の放課後に、子ども達が軽スポーツを体験する。・楽しく活動することによって、身体を動かすことの喜びや友達と仲良くすることの大切さを学ぶ。 <p><活動上の工夫></p> <ul style="list-style-type: none">・協働活動支援員が中心となって、子ども達にも理解しやすいルール作りや内容を考えたり、勝つための工夫を子ども達自身で考えられるよう配慮している。・活動日ごとに子ども達のグループを変更し、子ども達全員がコミュニケーションをとれるようにしている。 | | | |
| | 連携先 | 御殿場市立朝日小学校 | | |
| 活動の成果 | <ul style="list-style-type: none">・「放課後におもいきり外で遊べる友人や場所がない」といった保護者から、「この教室で、子ども達が元気に友人と体を動かせるのでありがたい」といった感想をいただいている。・時々学校の先生も一緒に活動してくれるので、先生と児童の放課後のコミュニケーションの場ともなっている。 | | | |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none">・協働活動支援員が4人なので、安全管理上児童の人数を30人程度としているが、毎年参加希望者が増えている。・保護者に児童のお迎えを義務付けているが、時々児童のお迎えを忘れる保護者もあり、連絡を取るのに苦労する事例がある。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 長泉町

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 17 年度

自由遊びの様子

| | | | | |
|-----------------|---|----------------------|---------|-----------|
| 活動名 | のびのびスマイル | | | |
| 実施箇所名 | 長泉小学校、北小学校、南小学校（町内各小学校） | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 居場所づくり、地域の人材育成、まちづくり | | |
| | 開催日数等 | 毎週水曜日 | 実施場所 | 各小学校グラウンド |
| | 参加児童・生徒数 | 260 人 | ボランティア数 | 47 人 |
| | ＜概要・特徴＞ 子ども達が放課後に学年の違う子と自由に遊んだり、地域の人々と交流したりする機会を意図的・継続的に設けることで、人とかかわる力や自分の考える力などを育む事を目的として運営をしている。 | | | |
| | ＜活動上の工夫＞ ・各小学校にコーディネーターを配置し運営やボランティアさんの連絡、調整等を行っている。 ・あえてプログラムを設けず、子どもたちが自由に遊ぶことを大切にしている。 | | | |
| | 連 携 先 | 長泉町内小学校 | | |
| 活動の成果 | ・異年齢集団で遊ぶことで相手を思いやる気持ちが育っている。 ・ボランティアの高齢者が、子どもとの関わりで生きがいを感じている。 | | | |
| 課題等 | ・のびスマ終了後の下校の安全確保 ・ボランティアスタッフ確保（高齢者が多い） | | | |
| 備考 | 放課後児童会の子どもも参加している。 | | | |
| 参考URL | http://town.nagaizumi.lg.jp/soshiki/shogai/index.html | | | |

市町名 小山町

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 27 年度

漢字検定合格をめざして

| | | | | |
|-----------------|--|--------------|---------|--------|
| 活動名 | 放課後子ども教室“あしがら”国語教室 | | | |
| 実施箇所名 | 小山町立足柄小学校家庭科室 | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 居場所づくり及び学力向上 | | |
| | 開催日数等 | 週1回 年29回 | 実施場所 | 学校家庭科室 |
| | 参加児童・生徒数 | 22 人 | ボランティア数 | 0 人 |
| | <概要・特徴> ・1月末の漢字検定合格に向けて、週1回、1名の指導者と1名のサポーターのもと、テキストに沿って漢字学習をしている。 | | | |
| | <活動上の工夫> ・漢字学習は4時～5時の1時間だが、教室は3時から開いていて、宿題等ができるようにしている。 ・放課後児童クラブの児童の参加を呼びかけた結果、数名の児童が放課後児童クラブから参加している。(終わったら、放課後児童クラブに帰っていく。) ・受験するかしないか及び受験級は自由として、自主性を尊重した。 | | | |
| | 連 携 先 | | | |
| 活動の成果 | ・漢字検定という外部機関による試験を受けることを目的にすることで、漢字学習だけでなく、他の面でも積極的になった。 | | | |
| 課題等 | ・検定合格という責任があるため、指導者の確保が難しい。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 島田市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 19 年度

創作活動、料理、レクリエーションなど

| | | | | |
|-----------------|--|---|---------|--------|
| 活動名 | 初倉放課後子ども教室「フレンズクラブ」 | | | |
| 実施箇所名 | 岡田公会堂等 | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 放課後に子供達の安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画のもと、子供達が健やかに育まれる環境づくりを推進する。 | | |
| | 開催日数等 | 年間25日程度 | 実施場所 | 岡田公会堂等 |
| | 参加児童・生徒数 | 20～30 人 | ボランティア数 | 13 人 |
| | <概要・特徴> 初倉地区の3つの小学校の児童を対象に、5月～2月の水曜日の午後4時～5時（8月は除く）に、岡田公会堂等を活動拠点とし、地域の方々の指導のもと、子供達が創作活動、料理教室、レクリエーション等の文化活動やスポーツに取り組む。 | | | |
| | <活動上の工夫> ・班編成を行い、各班が順番に当番となり初めの会・終わりの会を進行し、その日の活動の感想を述べるなど、子供達の積極的な活動参加をすすめている。 ・放課後児童クラブとの連携活動の実施、地域のシニアクラブの方々の活動への参加など、子供同士や地域の大人と子供の関わりを深めている。 | | | |
| | 連 携 先 | 放課後児童クラブ | | |
| 活動の成果 | ・活動に参加した子供の保護者へのアンケート調査で、「様々なことに積極的に参加するようになった。」「地域の大人にあいさつや話をする機会が増えた。」という回答が多く見られた。 | | | |
| 課題等 | ・社会教育課が主催している放課後子ども教室は初倉地区のみであるが、これをモデルケースとして、民間の団体等（自治会・町内会等）が主体となって運営する放課後子ども教室が、市内の他の地区でも実施されるよう、地域の教育事例集などを通して活動を周知していきたい。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 焼津市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 30 年度

地域・学校・教育委員会が連携した放課後子ども教室

| | | | | |
|-------------|---|---|---------|--------|
| 活動名 | わくチャレ！ましづっ子 | | | |
| 実施箇所名 | 東益津小学校・東益津公民館 | | | |
| 活動の概要・特徴・工夫 | 目的 | 「児童の体験の機会づくり」、「友達や地域との交流の場づくり」、「家庭での親子のコミュニケーション促進」、「地域人材の育成」など | | |
| | 開催日数等 | 5日 | 実施場所 | 東益津公民館 |
| | 参加児童・生徒数 | 延べ156人 | ボランティア数 | 延べ約15人 |
| | <概要・特徴> 東益津小1年生を対象とした「放課後子ども教室」。学校と公民館が併設しているため、学校内での一体型事業の実施が可能。 「学校」・「地域（公民館講座生）」・「教育委員会（社会教育課）」が連携し、学校を核とした地域づくり、地域とともにある学校づくりを実践している。 | | | |
| | <活動上の工夫> <ul style="list-style-type: none">・教育委員会主導にならないよう、学校や地域と相談、連携しながら進めている。・大学生が「青少年リーダー」として当日の司会進行や運営を行う仕組みとしていることで、青少年指導者の育成も行っている。・公民館講座生に講師をお願いすることで、講座生が日頃の学びを披露する場、地域に貢献する場が創出されるとともに、講座生の「学びの循環」が生まれ、より深い学びへと繋がっていく。 | | | |
| | 連 携 先 | 学校・公民館（公民館講座生）・静岡福祉大学 | | |
| 活動の成果 | <ul style="list-style-type: none">・本事業を通じて、「家庭で祖父と将棋を指すようになった」、「毎回キラキラした目で放課後子ども教室の出来事を教えてくれるようになった」などの声が寄せられており、児童の体験の機会創出、家庭でのコミュニケーションの促進」が図られている。・事業を通じて、学校や地域の連携がより強固となった。 | | | |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none">・当日の運営は、地域の方や大学生ボランティアを中心に行っているが、事前準備や調整については教育委員会（社会教育課職員）が行っている。今後、地域の方が地域学校協働員となり、教育委員会主導ではなく、地域が主導となった「放課後子ども教室」の開催、地域づくりが求められる。・開催回数を増やす。・下校時の安全確保（現在は、終了時間を高学年の下校時間に合わせるようにしている。） | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URI | | | | |

市町名 焼津市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 16 年度

地域の指導者による体験教室

| | | | | |
|-------------|--|---|---------|---------|
| 活動名 | わくわくチャレンジ南小キッズ | | | |
| 実施箇所名 | 大井川南小学校 | | | |
| 活動の概要・特徴・工夫 | 目的 | 「児童の体験の機会づくり」、「友達や地域との交流の場づくり」、「家庭での親子のコミュニケーション促進」、「地域人材の育成」など | | |
| | 開催日数等 | 年14回 | 実施場所 | 会議室、体育館 |
| | 参加児童・生徒数 | 延べ383人 | ボランティア数 | 延べ約20人 |
| | <概要・特徴> 合併前の旧大井川町で子どもの健全育成事業「地域子ども教室」（放課後の子どもの居場所づくり）の一環として大井川南小学校内で開始し、今年で15年目を迎えている。 学校、地域の指導者の協力を得て、2年生(前期)、1年生(後期)を対象とし、様々な体験の機会を提供し、友達との交流の場づくりに取り組んでいる。 | | | |
| | <活動上の工夫> ・教育委員会は裏方に徹して、地域の指導者や大学生ボランティアが活躍できるよう運営している。 ・大学生ボランティアを募集し、当日の司会進行や運営の補助を担当してもらい、青少年指導者の育成を行っている。 | | | |
| | 連携先 | 学校・地域住民・地元企業・静岡福祉大学 | | |
| 活動の成果 | ・お茶や将棋などさまざまな体験の機会を提供しており、本事業で学んだことを家庭で話したり、実践するなど「家庭での親子のコミュニケーション促進」を図っている。 ・地域住民や大学生等、保護者や先生ではない様々な年代の大人とのふれあいの機会を提供できている。 | | | |
| 課題等 | ・運営の主体を教育委員会から地域の指導者に移し、地域主導の「放課後子ども教室」を開催していきたい。 ・地域の指導者や大学生ボランティア等の人材確保。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 焼津市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 30 年度

市民団体や自治会、教育委員会が連携した放課後子ども教室

| | | | | |
|-------------|---|--|---------|--------------|
| 活動名 | 和田地区 子ども体験交流会（おばけ屋敷） | | | |
| 実施箇所名 | 和田公民館・和田小学校 | | | |
| 活動の概要・特徴・工夫 | 目的 | 「児童の体験の機会づくり」、「友達や地域との交流の場づくり」、「地域人材の育成」など | | |
| | 開催日数等 | 1 日 | 実施場所 | 和田公民館 多目的ホール |
| | 参加児童・生徒数 | 135 人 | ボランティア数 | 10 人 |
| | <概要・特徴> 市民団体を中心に、自治会や公民館、教育委員会（社会教育課）が連携し、公民館を会場に大々的な「おばけ屋敷」を開催している。 地域の恒例行事として、子どもたちに親しまれている。 | | | |
| | <活動上の工夫> <ul style="list-style-type: none">市民団体が中心となり企画、運営している。 教育委員会は安全面での配慮等について、指導やアドバイスを行うが、実施内容については市民団体の主体性に任せている。参加した児童だけでなく、運営に携わる市民団体や青少年ボランティア等のすべての人が楽しめるよう、団体等の垣根を越えて話し合い、より良い「放課後子ども教室」の実施を目指している。 | | | |
| | 連 携 先 | 市民団体・自治会・児童クラブ・公民館 | | |
| 活動の成果 | ・参加した子どもたちにとって忘れられない貴重な思い出ができ、それが運営する市民団体や自治会への励みとなっている。 | | | |
| 課題等 | ・中心となって活動している市民団体の人材確保 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 掛川市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 21 年度

遊びや学習をとおして交流

| | | | | |
|-----------------|--|---------------------------------|---------|-------------------|
| 活動名 | 西南郷地域子ども教室 | | | |
| 実施箇所名 | 西南郷地域生涯学習センター・市内自然体験施設 | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 安心、安全な子どもの居場所をつくる。地域住民と遊び、交流する。 | | |
| | 開催日数等 | 年20回程度 | 実施場所 | 西南郷地域 生涯学習センター |
| | 参加児童・生徒数 | 50人 | ボランティア数 | 8人 |
| | ＜概要・特徴＞ 6月から10月まで毎週水曜日の放課後に西南郷地域生涯学習センターを拠点として、遊びや学習をとおして交流した。 スポーツや陶芸の講師を招いて子どもたちが様々な体験活動を行った。 | | | |
| | ＜活動上の工夫＞ 子どもたちが手作り体験できるよう地域のシニアボランティアの協力を得て実施した。 七夕や月見など季節の行事を取り入れた。 集団活動と自由活動を組み合わせて子どもたちが自主的に活動しながら、異学年の交流や、地域住民とのふれあい活動を行った。 | | | |
| | 連携先 | 掛川市立中央小学校・NPO法人とうもんの里 | | |
| 活動の成果 | ・子どもと地域住民だけではなく、保護者と地域との関わりが生まれた。 ・様々な体験をとおして苦手な活動に対しても取り組んでいくことができた。 ・子どもたちの自主性がはぐくまれた。 | | | |
| 課題等 | ・スタッフの高齢化と人材不足により、活動が停滞している。 ・安全に活動する場所の確保が難しい。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 藤枝市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 20 年度

地域の見守りで のびのびと遊ぶ子どもたち

| | | | | |
|-----------------|--|------------------------|---------|----------------------|
| 活動名 | ひろはたっこ子ども教室 | | | |
| 実施箇所名 | 広幡小学校、広幡地区交流センター | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 居場所づくり、文化体験 | | |
| | 開催日数等 | 月2回、年20回程度 | 実施場所 | 学校体育館、 地区交流センター和室 |
| | 参加児童・生徒数 | 197人 | ボランティア数 | 10人 |
| | <概要・特徴> 平日水曜日の放課後において、ボール遊びやトランポリンなどの自由遊びや自主学習をし、地域住民が一緒に遊んだり見守っている。 また、土曜日では12名の児童が茶道教室を習い、地域行事に参画している。 | | | |
| | <活動上の工夫> ・放課後に行う自由遊びでは、学年ごとランドセルの位置を指定し、自主学習グループは体育館の玄関で、その他自由遊びグループは体育館内で活動をし、スペースの仕切りを行うことで衝突等の事故防止に努めている。 ・児童クラブ会員の児童は一度児童クラブで受付を済ませ、子ども教室に参加するよう徹底し、両組織の連携を図っている。 | | | |
| | 連携先 | ゆたかっこ児童クラブ（広幡小学校児童クラブ） | | |
| 活動の成果 | ・放課後に行う自由遊びは活動場所が小学校体育館であるため、活動に参加しやすく、毎回約170名の参加がある。 ・異学年の児童におけるコミュニケーションが自然と発生しており、指導者だけではなく、高学年の児童が下級生の面倒をみる場面が多くある。 ・同校児童クラブとの連携がとれているため、子ども教室に参加する児童クラブ会員の把握ができています。 | | | |
| 課題等 | ・ボランティアの確保が難しい。 ・他教室も含め予算財源の削減が各活動状況に大きく影響している。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 菊川市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 29 年度

ダンス指導の様子

| | | | | |
|-------------|---|---|---------|------------|
| 活動名 | 内田小放課後子ども教室 | | | |
| 実施箇所名 | 菊川市立内田小学校 | | | |
| 活動の概要・特徴・工夫 | 目的 | 放課後の子どもたちの居場所づくり、地域との交流のなかで子どもたちが健やかに育まれる環境づくりの推進 | | |
| | 開催日数等 | 月1回(年10回程度) | 実施場所 | 体育館・地区センター |
| | 参加児童・生徒数 | 26人 | ボランティア数 | 14人 |
| | <概要・特徴> 水曜日の放課後に地域住民等の参画を得て、軽スポーツ・文化活動・体験活動に取り組んでいる。 毎回異なるプログラムを計画し、児童全員が同じ内容の活動に取り組む。ボランティアの講師に指導を依頼している。 | | | |
| | <活動上の工夫> ・活動で製作した作品を地区センターまつりで展示し、子供たちの日頃の活動成果を発表するとともに、地域に対する子ども教室活動の周知を図った。 ・地域学校協働活動の登録ボランティアにダンス体験の指導を受けた。 | | | |
| | 連携先 | | | |
| 活動の成果 | ・活動を開始して3年目となるが、参加児童数は年々増加している。また、開設より継続して参加している児童も多い。 ・子どもが安心して放課後の時間を過ごせる場所を確保し、異年齢同士の交流、地域の方々と顔見知りになる機会を提示する事ができた。 | | | |
| 課題等 | ・今後事業を継続するに当たり、スタッフの継続的な確保が必要となる。開催回数を増やしたいが、仕事や他の業務と兼務で子ども教室の運営にあたってくださっているスタッフが多いため、負担を考えると拡大が難しい。 | | | |
| 備考 | 地区センターが学校に隣接しており、活動内容に応じて活用している。 | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 牧之原市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



支援ボランティアと児童

実施開始年度 平成 18 年度

| | | | | |
|-----------------|---|----------------------------------|---------|-------|
| 活動名 | 放課後学習支援 | | | |
| 実施箇所名 | 各小中学校（小学校9校・中学校3校） | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 学習支援・補充学習 | | |
| | 開催日数等 | 月～金（中学校は月・水） | 実施場所 | 各小中学校 |
| | 参加児童・生徒数 | 292 人 | ボランティア数 | 14 人 |
| | <概要・特徴> 放課後の時間を利用しての個に応じた学習支援。 帰りの会終了後、学校施設内の学習室（空き教室等）を利用して実施しているため、学校生活との連続性を持ちながら参加しやすい形態となっている。時間も1時間弱とコンパクトで、参加ニーズも高い。 | | | |
| | <活動上の工夫> ・希望があれば個々の児童生徒が希望する学習内容に対応するが、基本的には今学習していること、今日学んだことに対する復習を支援している。学習の鮮度が失われる前に、繰り返して学ばせることで定着を図るとともに、意欲を高めたまま家庭で学びを続けることを期待している。 | | | |
| | 連 携 先 | 牧之原市教育委員会学校教育課（TEL：0548-53-2645） | | |
| 活動の成果 | ・疑問に感じた内容や質問に対して、ダイレクトな返答やアドバイスが受けられることで、理解度や意欲が向上した。 （小学生では参加者の95.2%、中学生では参加者の93.1%が「勉強がわかるようになった」と回答） | | | |
| 課題等 | ・中学生の参加者が一部にとどまっていること。 ・支援に関わる人材の確保。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 吉田町

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



スタッフと一緒に活動する子どもたち

実施開始年度 平成 30 年度

| | | | | |
|-------------|---|------------------------------|---------|-----|
| 活動名 | どんぐり教室（放課後子ども教室） | | | |
| 実施箇所名 | 吉田町立中央小学校 | | | |
| 活動の概要・特徴・工夫 | 目的 | 子どもの居場所づくり、地域の人材育成 | | |
| | 開催日数等 | 年26回 | 実施場所 | 体育館 |
| | 参加児童・生徒数 | 116人 | ボランティア数 | 29人 |
| | <概要・特徴> ・平日の4時間授業日（13時30分下校）に対応した放課後子ども教室。 ・運営はNPO法人eとこ吉田に業務委託をしている。 ・スタッフは地域の老人クラブに声をかけ、世代間交流の場となっている。 | | | |
| | <活動上の工夫> ・地元のNPO法人に業務委託をしたことで、地域の人材育成に繋がっている。 ・連続した活動日は、複数日かけて完成するような内容を実施している。 （例：1日目 竹の器、2日目 竹の箸、3日目 流しそうめん） ・社会教育専門職員（教諭）が当日の内容について指導・助言を行っている。 | | | |
| | 連携先 | NPO法人eとこ吉田、さわやかクラブ（老人クラブ）、学校 | | |
| 活動の成果 | ・アンケートの結果、参加者100%、保護者90%が満足していると回答。 ・学校や家庭ではあまり体験することのない企画を実施することで、子どもたちにとって貴重な体験の場となっている。 ・地域の大人が参画することで、保護者とはちがう大人との交流の場となっている。また、スタッフにとってはどんぐり教室が生きがいとなっている。 | | | |
| 課題等 | ・コーディネーターの発掘・育成が課題。 ・参加児童が100名を超えているため、ボランティアの確保も急務。 ・近隣に大学等がないため、若手のボランティアの確保が難しい。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 川根本町

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 19 年度

大根そばづくり

| | | | | |
|-----------------|---|--|---------|------|
| 活動名 | 地域ふれあいスクール | | | |
| 実施箇所名 | 川根本町立本川根小学校・中川根第一小学校・中央小学校・中川根南部小学校 | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | ・子どもと大人の相互のふれあいを深める。 ・子どもを地域社会全体で育てていくという意識を高める機会とする。 | | |
| | 開催日数等 | 年23日程度 | 実施場所 | 各小学校 |
| | 参加児童・生徒数 | 55人 | ボランティア数 | 68人 |
| | <概要・特徴> 9月から翌年2月まで、毎週水曜日の放課後に実施。対象者は小学校1年生から6年生までの希望者。工作体験やスポーツ活動、調理体験、楽器体験、自然観察、芋掘り体験などさまざまな体験を実施。 | | | |
| | <活動上の工夫> ・コーディネーターが年間の計画を決定し、活動時の連絡調整を行っている。 ・ボランティアの人たちが知り合いに声を掛け、支援員やサポーターの人材を確保している。 | | | |
| | 連携先 | 町内企業、文化関係団体、ほか町内団体 | | |
| 活動の成果 | ・子供の意見として大人と仲良くなれた、話することができた、などが 挙がり、地域の大人とふれあうという目的を達成することができた。 | | | |
| 課題等 | ・児童数の減少や授業時間の増加により、特に高学年の参加者数が減っている。 ・ボランティアの高齢化や後継者不足。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 袋井市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 20 年度

昔の遊びやスポーツ・文化活動

| | | | | |
|-----------------|--|------------------|---------|---------|
| 活動名 | 浅羽東小学校放課後子ども教室 | | | |
| 実施箇所名 | 浅羽東小学校 | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 居場所づくり、地域の人材育成 | | |
| | 開催日数等 | 年間20日 | 実施場所 | 浅羽東小体育館 |
| | 参加児童・生徒数 | 86人 | ボランティア数 | 40人 |
| | <概要・特徴> 平成20年度から開始した浅羽東小学校放課後子ども教室は、平成22年度から放課後児童クラブの全児童が参加し活動している。参加児童は、昔の遊びなどスポーツや文化活動を通して、異学年との交流や地域住民とふれあいが図られ、放課後の居場所づくりとして楽しい時間を過ごしている。 | | | |
| | <活動上の工夫> ・コーディネーターが中心となり、スタッフが当番制により体育館等の鍵や窓当番を担うことで、地域全体で活動をさせる意識の醸成が図られている。 ・活動計画の打合せについて、スタッフ全員が参加し意見を出し合って計画を立てている。 | | | |
| | 連携先 | 自治会、民生委員、シニアクラブ等 | | |
| 活動の成果 | ・浅羽東小学校全体の約1／4の児童が放課後子ども教室に参加しており、地域と学校、放課後児童クラブが連携し充実した運営体制の構築が図られている。 ・放課後子ども教室に関わるそれぞれの団体等が活動のねらいを共有し、児童と地域住民が関わる場として、顔見知りとなりお互いがあいさつするなど、地域コミュニティの向上につながっている。 | | | |
| 課題等 | ・ボランティアスタッフとして参加する保護者の確保が難しい。 | | | |
| 備考 | 登録ボランティアスタッフ 40人 参加児童 86人のうち、放課後児童クラブ59人) 参加対象 全学年 活動回数 年間20回（水曜日） | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 湖西市

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



タグラグビーを体験している児童たち

実施開始年度 平成 20 年度

| | | | | |
|-----------------|---|---|-------|------------|
| 活動名 | 東っ子 わくわく子ども教室 | | | |
| 実施箇所名 | 東小学校 | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 地域の方々の協力をいただき、放課後の子どもたちが安全で安心して活動できる場所づくりを進めます。 | | |
| | 開催日数等 | 14日 | 実施場所 | 東小学校体育館 ほか |
| | 参加児童・生徒数 | 25人 | 活動人員数 | 5人 |
| | <概要・特徴> 放課後の時間にタグラグビーやデカスポテニスの体験、ペーパークラフトや万華鏡の作成など、多様な体験活動を年間14回開催しています。 | | | |
| | <活動上の工夫> プログラムについては、スタッフにアンケート等を実施し、児童の声が反映されるように努めています。 また、異学年の児童が一緒に活動しているので、作業等が安全に進められているか見守りながら活動しています。 | | | |
| | 連 携 先 | 老人クラブ、ヤマハ発動機ラグビー部、本田技研工業(株)社会活動推進センター 他 | | |
| 活動の成果 | 参加児童は、工作やスポーツ・文化活動など、学校の授業とは異なる様々な体験を通じて、異学年との交流や放課後の居場所づくりとして楽しい時間を過ごしています。 | | | |
| 課題等 | コーディネーターやスタッフの確保がとても難しい。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |

市町名 森町

| | |
|------------|---|
| 地域学校協働本部 | |
| 放課後子供教室 | ○ |
| 家庭教育支援 | |
| 土曜日の教育活動 | |
| しずおか寺子屋 | |
| その他（通学合宿等） | |



実施開始年度 平成 23 年度

工作や昔の遊びなど、地域の大人と過ごす

| | | | | |
|-----------------|--|-----------------------|---------|------|
| 活動名 | 放課後子供教室 | | | |
| 実施箇所名 | 三倉小学校・天方小学校 | | | |
| 活動の概要・ 特徴・工夫 | 目的 | 子供の放課後における安心安全な居場所づくり | | |
| | 開催日数等 | 180回／年 | 実施場所 | 空き教室 |
| | 参加児童・生徒数 | 46人 | ボランティア数 | 13人 |
| | <p>＜概要・特徴＞</p> <p>平日の放課後に地域住民であるスタッフが自主勉強（宿題等）の支援、自由活動の見守り、体験学習等を行っている。</p> | | | |
| | <p>＜活動上の工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">・運営委員会及びスタッフ打合せ会を年2回開催し、情報の共有を図っている。・外部の講師による体験教室を取り入れている。・当日の出欠及び帰宅予定時刻を保護者からの連絡ノートで毎日確認し、安全面の徹底を行っている。 | | | |
| | 連携先 | | | |
| 活動の成果 | <ul style="list-style-type: none">・身近な地域住民等、保護者とはちがう大人との関わりを通して、様々なふれあいの機会となっている。・折り紙やあやとりなど、昔の遊びを伝える場となっている。・共稼ぎ世帯が増える中で、特に低学年の子は放課後を安心、安全に過ごすことができる。 | | | |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none">・スタッフが高年齢化し、外遊びなど活発な活動の見守りが困難になってきている。・新たなスタッフの確保が難しい。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 参考URL | | | | |